

常清滝



作木中学校通信卒業特集

発行 令和6年3月11日

発行責任者 米丸 康司

■卒業証書授与式



式辞 (中略)

日一日と温かさが増し、校庭の木々の芽も膨らみ、春の訪れが感じられるような季節となりました。

作木の里に、春の息吹を感じる、今日の良き日に、ご来賓の皆様のご臨席をたまり、令和5年度 第77回 三次市立作木中学校 卒業証書授与式を挙げてさせていただきますこと、心より厚く、お礼申し上げます。

10名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先ほど立派な態度で、「卒業証書」を受け取った、皆さんの姿を見るにつけ、

三年間の日々が思い出されます。

卒業生の皆さんは、十名の仲がとても良く、お互いの良さを認め合える、素晴らしい学年でした。また、コロナ禍の中の三年間でしたが、私は、皆さんだからこそ、作木中の伝統を、さらに前に進めることができたと考えています。ここまで、学校を引っ張ってきてくれて、ありがとう。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。この三年間、本校に対しまして、多大なるご支援とご協力をいただきましたこと、この場をかりて、厚くお礼申し上げます。

地域の皆様、卒業生は、作木の豊かな自然と人との温かい触れ合い、歴史・文化から多くのことを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。

卒業生の皆さんへ、伝えたいことが二つあります。

一つ目は、「今を大切に生きてほしい」ということです。

今年正月には、震度7の能登半島地震が発生し、多くの方の命が失われ、避難生活は続いています。改めて、自然災害の怖さ、当たり前の日常生活を、家族や友だちと過ごすことの大切さを深く考えさせられました。「今をいかに生きるか」は、誰もが避けて通れない大きなテーマです。生きていくことは、いつも新しい目標に向かって挑戦することです。「乗り越えられない壁はやって来ない」という言葉があります。壁は、誰にでも与えられ、その人にとって少しだけ難しい壁が立ちあがるのです。



卒業生の皆さん、かけがえのない自分や命を大切に、今を大切に生きてください。

二つ目は、皆さんを育ててくれた「ふるさとさくぎ」を愛する人でいてください。そのためには、まず、一番身近にいる皆さんの家族を大切に考えてください。



京セラの創業者である稲盛和夫さんは、「人間の行いの中で最も尊いものは、人のために何かをしてあげるといふ行為です。人はふつう、まず自分のことを第一に考えがちですが、実は誰でも人の役に立ち、喜ばれることを最高の幸せとする心を持っています。人間の本性とはそれほど美しいものです。」と述べています。今、日本の大人たちは、少子高齢・

人口減少や経済の課題を抱えながらも、次の時代の輝きを目指そうと必死で頑張っています。

これまで、皆さんは作木のことを多くの人から学び、地域のことを考え、行動してきました。卒業生の皆さん、これから地域の未来をつくっていく一員として、これからの人生を歩んでください。

本日の卒業式が皆さんの次のステージへの新たなる旅立ちとなることを願っています。

最後になりましたが、本日、ご臨席いただきました皆様方の益々のご活躍、ご健康を祈念し、また、今後とも作木中学校へのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。

令和6年3月7日

三次市立作木中学校長 米丸康司

送辞（中略）



作木の山々を暖かい日差しが照らし、春の訪れを感じる今日。作木中学校を巣立っていかれます3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

3年生の皆さんと過ごしたこれまでの日々を思い起こすと、いつも私たち後輩とも仲良く接してくださる皆さんの優しさやみんなを力強く引っ張ってくださる姿が浮かんできます。

そんな3年生の皆さんから、私たちは、様々なことを学び、沢山の思い出があります。

一番思い出深いのは、やはり3年生の皆さんと協力して創り上げた、神楽「大江山」です。毎年、先輩方が取り組まれ、引き継ぎ、今年度で47年目を迎えた作木中学校の伝統です。今年度も3年生全員が参加し2年生を支えて下さいました。校内練習だけでなく、毎週金曜日の伝承館での夜練習も楽しみにしていたかのように笑顔を増かせ、伝承館に入っておられました。

校内練習では、昨年度の神楽を踏まえて、私達に様々なアドバイスや励ましの言葉をかけていただきました。舞順などを知らず、戸惑う私達に一つ一つ手本を見せながら毎時間丁寧に、教えて下さいました。

伝承館での夜練習も、伊賀和志神楽団の団員さんの指導を真剣に受けておられる姿から、「より良い舞にしたい」という気持ちが伝わってきました。

そのような先輩方の頼もしい姿を目にして、「今までの中で一番いい神楽にしたい」という気持ちが湧き、練習も、より一層力が入りました。そのおかげで、本番では、自分たちが悔いの残らない舞をすることができ、みんなで一つのものを作り上げる一体感を味わうことができました。「伝統を守っていく」「神楽への思いと楽しさを伝える大切さ」を学びました。来年度は私たち2年生が後輩へこの思いを繋いでいきます。



先輩方との沢山の思い出が走馬灯のように去来し、皆さんとのお別れを前にして私たちは、寂しい気持ちでいっぱいです。これから私たちは、皆さんが立派に築いてくださった作木中学校の伝統を、より良いものにするために、私たち新執行部が中心となって、一人一人が活躍できる作木中学校を目指します。

3年生の皆さんはそれぞれ違う道に進みます。新しい出会いや、楽しいこと、そして、時には、辛いこともあると思います。それでも、皆さんが今まで学んできたことを活かし、作木中学校での仲間や後輩と過ごした、楽しかった日々を忘れないで、頑張ってください。私たち在校生一同、3年生の皆さんのより一層の

ご活躍を祈っています。3年生の皆さん、今まで本当にありがとうございました。

最後になりましたが、皆さんのご健康とこれからのご活躍をお祈りして、送る言葉とさせていただきます。

令和6年3月7日 生徒代表 田平 瑞稀

答辞



暖冬により例年よりも早く春の暖かさが感じられる今日。私たち10人は義務教育9年間の課程を終える卒業の日を迎えました。校長先生をはじめ、日々励ましてくださった先生方、保護者の皆様、地域の皆様、今日は私たちのためにこのような式を開いてくださり、ありがとうございました。

3年前の春、私たちは真新しい制服に身を包み、希望と不安を抱きながら、ここで入学式を迎えました。1年生の私たちは何もかもが新しく最初はどのように行動して良いかわかりませんでした。しかし、当時の先輩方は、そんな私たちに中学校生活について、一つ一つ優しく教えてくださいました。その優しさは今も私たちの心に残っています。

私たち10人は3年間を通していろいろな思い出ができ、成長することができました。2年生と3年生で行った神楽。伊賀和志神楽団の皆さんに指導していただいて練習を行いました。みんなと協力して最高の神楽をつくることができ、今まで感じたことのない達成感を感じるすることができました。指導してくださった神楽団員さん、毎週金曜日に送り迎えをしてくれた保護者の皆さん本当にありがとうございました。

中学校の3年間で多くの思い出を作ることができました。その中でも3年生の4月に行った修学旅行は印象に残っています。民泊体験では、山と海、作木では味わうことのできない体験をさせていただきました。現地の人と触れ合いながら、人と地域の繋がりを学ぶことができました。長崎では、ヒロシマ、ナガサキこの2つの地で起きた悲惨な過去を学びながら、平和についての考えを深めました。そして、自分たちで立てたプランで行動した班別学習、夜遅くまで続いたおしゃべり等、本当に楽しかったです。



また、3年間の中で日常生活は数えきれないほど思い出があります。休憩時間に馬鹿みたいに声を出したり、授業中にわざわざ手をあげてボケて大笑いしたり、日々のたわいのない場面の一つ一つが忘れることができない最高の思い出です。そして、この3年間の学習や行事の中で、自分を表現する力、仲間と協力する力等を付けることができ成長しました。

1・2年生の皆さん、3年間はあっという間です。卒業まじかになってそう感じました。自分のやりたい

ことを見つけてそれに向かって頑張ってください。また、真面目にルールを守り、けじめをつけ、落ち着きのある学校にしていってください。だけど、笑いの絶えない楽しい学校、みんなで何事も協力し、生徒同士が仲の良い作木中学校の良い伝統も受け継いでください。

保護者の皆さんいつも私たちを支えてくださりありがとうございました。時々きつくあたることもありました。けれど、そんな私たちをいつも見守り、優しく接してくださいました。今の私たちがあるのは一生懸



命育ててくださった保護者の皆さんのおかげです。このことを忘れずにこれからも頑張っていくので、あたたかく見守ってください。

作木中学校の先生方。3年間本当にお世話になりました。授業中にボケたり、反抗してしまったり、いろいろ迷惑をかけました。それでも、進路のことなど相談に乗ってください、すごく助かりました。最後まで指導してくださって、本当にありがとうございました。

このクラスはとても個性が豊かで毎日賑やかな教室でした。こんな素敵で最高の仲間と中学校生活を終わることができ、とても誇りに思います。時にはぶつかってしまったこともありました。今ではいい思い出です。本当に充実した日々でした。最高の仲間と出会えてとても幸せです。



私たちは、これからそれぞれの道を進んでいきます。今までに経験したことのない、大きな壁にぶつかることもあると思います。その時は、中学校で学んだことを活かして頑張っていきたいです。自分が後悔しないように勉強に励み、いろいろなことに挑戦し、覚悟、責任を持って変わり続けていきたいです。

私たちは今日、新たな世界への一歩を踏み出します。これまで、たくさんの人たちに支えられてきた温もりや、作木中学校で築いてきた自信を胸に、これからそれぞれの夢に向かって少しずつ歩いていきます。これからも、私たちの成長していく姿を温かく見守ってください。

今まで本当にありがとうございました。あらためて感謝を申し上げ、答辞といたします。

令和6年3月7日 卒業生代表 田部 紬稀



■せせらぎの里へ

福祉体験等でお世話になっていた「せせらぎの里」へ学習発表会の様子を撮影したDVDを寄贈してきました。本来なら福祉体験をさせていただくのですが、今年度もコロナ禍の影響で実施できておりません。来年度は実現できたらと考えております。



地域の皆様、アルミ缶回収に協力していただきありがとうございます。今年度も8万円弱の収入になり、部活動や神楽、教材等に有効に使わせていただきました。大変感謝しております。今後ともご協力をお願いいたします。

学校だより『常清滝』も「卒業特集」で終わります。1年間、読んでいただきありがとうございました。作木中学校の情報発信に努めてまいりましたが、至らない点も多々あったと思います。来年度も生徒や保護者、地域の方々に楽しみにしていただける内容に努めてまいります。よろしくをお願いいたします。